

鈴木桂樹 教授略歴・業績目録

【略歴】

- 一九七九年三月 広島大学政経学部法律政治学科卒業
- 一九七九年四月 大阪外国語大学イタリヤ語学科学士入学（一九八〇年九月中途退学）
- 一九八一年四月 名古屋大学大学院法学研究科博士前期課程入学（一九八三年三月修了）
- 一九八三年四月 名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程入学（一九八六年三月単位取得退学）
- 一九八六年四月 名古屋大学法学部助手
- 一九八七年四月 熊本大学法学部講師
- 一九八九年七月 熊本大学法学部助教
- 一九九六年一月 熊本大学法学部教授
- 二〇〇三年四月 熊本大学法学部公共政策学科長（二〇〇四年三月まで）
- 二〇〇六年一二月 熊本大学黒髪事業場過半数代表者（二〇〇七年一月まで）
- 二〇〇八年四月 熊本大学法学部副学部長（二〇一九年三月まで）
- 二〇一七年四月 熊本大学大学院人文社会科学部（法学系）教授
- 二〇一九年四月 熊本大学大学院人文社会科学部副学部長（二〇一九年三月まで）
- 二〇一九年四月 熊本大学大学院人文社会科学部研究部長（二〇二一年三月まで）

熊本大学法学部長（二〇二二年三月まで）

【研究】

一・主要業績

- ・「イタリア『福祉国家』の形成と展開―脱集権化と多元的福祉レジーム」小谷眞男・横田正顕編著『新世界の社会福祉4南欧』旬報社、二〇一九
- ・「震災とマスメディア―報道倫理をめぐって―」『熊本法学』第一四一号、二〇一七
- ・「震災があぶり出す『公助』の課題」『法学セミナー』二〇一七年六月号
- ・「学生たちの『震災とマスメディア』―被災地での評価と批判」『新聞研究』二〇一六年七月号
- ・「経営戦略としての男女共同参画の現状と課題」一般社団法人大学コンソーシアム熊本『大学生及び企業従業員に係る男女共同参画意識・実態調査結果から抽出された課題解決に係る調査研究報告書』二〇一五年
- ・「イタリアにおける安全保障とテロ対策」梅川正美編『比較安全保障』成文堂 二〇一三年
- ・「イタリア外交安全保障政策ノート―政権交代による継続と変化に関する三つの論文」『熊本法学』第一二七号 二〇一三年
- ・「イタリアにおける『国家フェミニズム』の展開と限界」日本政治学会編『ジェンダーと政治過程』木鐸社 二〇一〇年
- ・「行政相談制度の現在」『行政苦情救済&オンブズマン』21（日本オンブズマン学会誌五号）二〇一〇年
- ・「『ジェンダー平等政策』ノート―イタリア・Alessia Dona論文を読む―」『熊本法学』第一一九号 二〇一〇年

- ・「イタリアの社会保障の概要―法・政治・行財政」小島晴洋・小谷眞男・鈴木桂樹・田中夏子・中益陽子・宮崎理枝『現代イタリアの社会保障』旬報社 二〇〇九年
- ・「行政システムの変容―政治変動のなかの行政の『近代化』」、日本政治学会二〇〇七年研究大会提出論文、二〇〇七年
- ・「政策視点としての男女共同参画社会」田中雄次・大江正昭編『グローバルイズムの射程』成文堂 二〇〇五年
- ・「90年代の政治変動と行政改革」『イタリアのいわゆる「第二共和制」への移行に伴う法制度的変容の資料実証的研究』（科学研究費補助金成果報告書）二〇〇五年
- ・「イタリア官僚制の歴史比較論的分析」（科学研究費研究成果報告書）二〇〇四年
- ・「男女共同参画社会というシナリオ」山中進編『女と男の共同論』成文堂 二〇〇三年
- ・「イタリアの政治変動と行政改革の展開」（科学研究費研究成果報告書）二〇〇二年
- ・「行政機構・官僚制」馬場康雄・岡沢憲美編『イタリアの政治』早稲田大学出版部、一九九九年
- ・「国と地方の行政・政治関係」仲村優一・一番ヶ瀬康子編『世界の社会福祉5 フランス・イタリア』旬報社 一九九九年
- ・「欧州統合のなかのイタリア行政」常葉謙二・古賀允洋・鈴木桂樹編『国際社会の近代と現代』九州大学出版会 一九九七年
- ・「イタリア『熱い秋』覚え書」岡本宏編『1968年・時代転換の起点』法律文化社 一九九五年
- ・「レーガからフォルツァへ―イタリア政治分析の一断面」『月刊フォーラム』一月号 社会評論社 一九九五年
- ・「戦後イタリア政治の転換」田口富久治・小野耕二編『現代政治の体制と運動』青木書店 一九九四年

- ・「EC統合のなかのイタリア政治」日本政治学会編『EC統合とヨーロッパ政治』岩波書店 一九九三年
 - ・「スカラ・モービレ国民投票―一九八五年六月・イタリア」熊本大学法学部編『法学と政治学の諸相』成文堂 一九九〇年
 - ・「イタリア『福祉国家』の危機と変容」田口富久治編『ケインズ主義的福祉国家―先進6カ国の危機と再編』青木書店 一九八九年
 - ・「イタリア官僚制の行政的非能率と政治的機能(一)(二)(三)(四)完」『法政論集』第一〇八号、第一一一号、第一一三号、第一一四号、一九八六年～一九八七年
- 二・MICS(年鑑・書評・調査報告・翻訳等)
- ・『世界の社会福祉年鑑』二〇一九年版、二〇二〇年版、二〇二一年版、二〇二二年版、二〇二三年版、二〇二四年版、二〇二五年版、二〇二〇〇八年版、二〇〇〇〇九年版、二〇〇〇一年版、二〇〇〇二年版各巻「イタリア・概観」および二〇〇二二年版「災害防護国民サービス」、旬報社
 - ・「総括―調査結果の概観と分析―」熊本県『男女共同参画に関する県民意識調査』二〇二〇年
 - ・「男女共同参画の基礎知識―いま、なぜ、どんな男女共同参画なのか?」『GEジャーナル』創刊号 二〇二〇年
 - ・書評「村度と官僚制の政治学」西日本新聞二〇一九年二月二日
 - ・書評「熊本地震 あの時何が」熊本日日新聞二〇一八年六月一七日(神戸新聞七月七日、沖縄タイムス七月七日)
 - ・「公行政における男女の平等ならびに機会均等の実現に向けた措置」解題と翻訳『熊本法学』第一四一号、二〇一七

- ・書評「熊本地震 連鎖の衝撃」熊本日日新聞二〇一六年一月二〇日
- ・「調査結果の概観と考察」熊本市『男女共同参画に関する市民意識調査』二〇一四年一月
- ・（共訳）「社会福祉基本法」小島晴洋・小谷眞男・鈴木桂樹・田中夏子・中益陽子・宮崎理枝『現代イタリアの社会保障』旬報社 二〇〇九年
- ・「総括―調査結果の概観と考察―」熊本県『男女共同参画に関する県民意識調査』二〇一〇年
- ・「Dレポート」9・11総選挙と民主党の政治的空間」（民主党提出）二〇〇六年
- ・「政策視点としての男女共同参画社会」中川義朗編『地方公務員政策法務ハンドブック』（熊本県市長会・町村会発行）二〇〇五年
- ・「いま、なぜ男女共同参画社会なのか」『地域政策法務研究』二〇〇五年
- ・「映画を通してイタリアを知る」講義案『イタリア圖書』No.26 二〇〇〇年
- ・「EC統合のなかのイタリア官僚制―課題設定のためのメモランダム」熊本大学共同研究報告書『国際統合の進展のなかの「地域」に関する学際的研究』一九九六年
- ・「ライブリー・ポリテイクス―市民生活の中から政治を考える」熊本大学法学部『昭和63年度熊本大学法学部公開講座実施結果』一九八九年

三・所属学会・研究会

日本政治学会／日本行政学会／日本比較政治学会／日本ジェンダー学会／九州法学会／イタリア近現代史研究会

【教育】

熊本大学法学部・大学院にて、政治原論 政治過程論 行政学 現代政治論 政治学（教養） 現代政治行政論
 公共政策入門 演習 等の講義を担当

【社会貢献】

一・審議会等

益城町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会（会長）（二〇一九年～現在）／熊本市公文書の管理に関する検討委員会（会長）（二〇一九年～二〇二〇年）／熊本市第7次総合計画中間見直し委員会（副委員長）（二〇一九年～二〇二〇年）／熊本市政治倫理審査会（委員長）（二〇一九年～現在）／益城町総合計画審議会（会長）（二〇一八年～二〇一九年）／第2次熊本市人権教育・啓発基本計画策定委員会（委員長）（二〇一八年～二〇一九年）／熊本市保存文書等の管理に関する検討委員会（委員長）（二〇一八年～二〇一九年）／熊本市日新聞社「読者と報道を考える委員会」委員（二〇一六年～二〇一八年）／熊本市しごと・ひと・まち創生総合戦略検証委員会（会長）（二〇一六年～現在）／宇城市男女共同参画審議会（会長）（二〇一六年～現在）／益城町復興計画策定委員会（会長）（二〇一六年～二〇一七年）／熊本市震災復興検討委員会（副会長）（二〇一六年～二〇一七年）／益城町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会（会長）（二〇一五年～二〇一六年）／熊本市総合計画審議会及び熊本市まち・ひと・しごと創生総合戦略等策定委員会（会長）（二〇一五年～二〇一六年）／熊本市人権教育・啓発基本計画推進会議委員（委員長）（二〇一四年～現在）／益城町総合計画審議会（会長）（二〇一四年～二〇一九年）／人吉下球磨消防組合第三者委員会（委員長）（二〇一三年～現在）／熊本市人権啓発推進基本計画検討懇談会（座長）（二〇一三年～二〇一四年）／NPO法人チェンジライフ熊本「地域における男女共同参画連携支援事業」（内閣府モデル事業）検討委員会（議長）（二〇一二年～二〇一三年）／くまもと市男女共同参画会議（会長）（二〇一一年～二〇一五年）／熊本県男女共同参画審議会（会長）（二〇〇八年～二〇一二

年) / くまもと農山漁村男女共同参画推進会議(会長) (二〇〇七年) / 現在 / 宇土市男女共同参画審議会委員(二〇〇四年) / 二〇一〇年 / 熊本県男女共同参画推進条例(仮称) 検討委員会委員(二〇一〇年) / 熊本県男女共同参画社会推進懇話会委員(副会長) (二〇〇〇年) / 二〇〇二年 / 大規模小売店舗審議会九州審議部会熊本審査会特別委員(一九九八年) / 二〇〇〇年 / 熊本市野口清水線検討委員会委員(一九九七年) / 行政苦情救済推進会議(座長)・行政懇談会委員(総務省熊本行政評価事務所) (一九九六年) / 現在)

二・社会評論・発言・講演・研修等

〔新聞〕

転機に立つ日伊戦後政治 熊本日日新聞 九三年六月一日 / 総選挙と政界再編 熊本日日新聞 九三年七月二十八日 / イタリアに見る日本政治の課題 熊本日日新聞 九四年一月五日 / 分権時代のトップ選択を(熊本市長選) 西日本新聞 九四年一月二〇日 / 刷新票の重み受け止めて(熊本市長選) 毎日新聞 九四年一月二二日 / 議員定数削減論議への疑問 熊本日日新聞 九五年三月一三日 / 地方政治と私 熊本日日新聞 九五年四月一三日 / 定数削減生かせ 西日本新聞 九五年四月二四日 / 号外 / 統一地方選(九州・西中国) 振り返って・特徴と背景 朝日新聞 九五年四月二四日 / 不信募り怒る有権者(参院選) 毎日新聞 九五年七月二五日 / 地方分権に水差す(宇土市議会) 西日本新聞 九六年一月 / 政界再編への課題 読売新聞 九六年二月二五日 / されど古い政治続く 熊本日日新聞 九六年四月一二日 / 政治の質は旧態依然 西日本新聞 九六年四月一二日 / 96総選挙新制度 熊本日日新聞 九六年一〇月一四日 / なぜなぜ質問箱 熊本日日新聞 九六年一〇月二〇日 / 政界再編いまだ成就せず 熊本日日新聞 九八年五月一二日 / 既成政党枠の「非自民」限界に 毎日新聞 九八年六月一六日 / 参院選挙を振り返って 朝日新聞 九八年七月一四日 / 政治家の定年 熊本日日新聞 九八年一月二二日 / 議会の存在意義示せるか 読売新聞 九九年四月一三日 / 政党前面潮谷氏に流れ 毎日新聞 〇〇年四月一七日 / 女性が大きな役割果たす 読売新聞 〇〇年四

月一八日／総選挙で問われるもの 西日本新聞 ○〇年六月三日／政治的無関心 熊本大学新聞 ○〇年六月二一日／こう見る
 総選挙 熊本日日新聞 ○〇年六月二七日／問われる有権者の成熟度 西日本新聞 ○〇年一〇月二七日／派閥間の「疑似政権
 交代シヨ」 熊本日日新聞 ○一年四月二二日／県内党員も世論を意識 西日本新聞 ○一年四月二四日／小泉政権への「先物
 選挙」 熊本日日新聞 ○一年七月三一日／機能しなかった政治的判断 熊本日日新聞 ○一年二月一九日／従来の常識くつ
 がえす（熊本市長選） 毎日新聞 ○二年一月二二日／次は市議への審判 西日本新聞 ○二年一月一五日／問われる有権
 者の選択 西日本新聞 ○三年四月二二日／底流に「変化」「混迷」の兆し 熊本日日新聞 ○三年四月一九日／マニフェスト
 競い合え 朝日新聞 ○三年一〇月二一日／総選挙結果から見えるもの 熊本日日新聞 ○三年一月一五日／有権者をその気
 にさせられるか 西日本新聞 ○四年六月一八日／実績に不満も「代わる人いない」 読売新聞（夕） ○四年六月二四日／日本
 政治の転換点次に生きる判断を 朝日新聞 ○四年六月二五日／年金、多国籍軍：「議論なし」の危うさ 熊本日日新聞 ○四
 年七月一〇日／参院選を振り返って 熊本日日新聞 ○四年七月一三日／人口減少に見合う制度を 熊本日日新聞 ○五年七月
 三二日／問う有権者の判断能力 朝日新聞 ○五年八月三一日／有権者の望みとギャップ 読売新聞 ○五年八月三一日／「〇
 ×」的選挙に無党派層反応 ○五年九月一三日 熊本日日新聞／地方自立の時代 自覚持ち投票を 朝日新聞 ○七年三月三一
 日／無党派の風と亥年の統一地方選 熊本日日新聞 ○七年四月三日／公約果たした小泉改革 西日本新聞 ○七年七月三一日
 ／まぎれもない「自民庄勝」 熊本日日新聞 ○八年三月二五日／積極的には賛成しない 熊本日日新聞 ○八年三月二八日／
 福田首相辞任の妙な既視感 西日本新聞 ○八年九月三日／正当性強めた決断プロセス 熊本日日新聞 ○八年九月一三日／総
 理大臣に衆議院の解散権があるのは何のため？ 熊本日日新聞 ○八年一〇月二六日／「政権交代のある民主主義」へ 西日本
 新聞 ○九年七月二九日／政党は大きなビジョン示せ 熊本日日新聞 ○九年七月三〇日／選ぶ側も問われる責任 朝日新聞
 ○九年八月一九日／自民、参院選敗北の教訓生かせず 朝日新聞 ○九年九月二日／情報公開し政策決定を 読売新聞 ○九年
 九月二六日／政権のポジティブさ感じる 熊本日日新聞 ○九年一〇月一八日／09年県内市長選―政権交代の影響も 熊本日日
 新聞 ○九年一二月一三日／「人的資源への取り組みを」 幸山せいしマガジン 62 二〇一〇年一月三一日／政策の実現性見て

自分の視点で選択 朝日新聞 一〇年六月二五日／ニッポンの進路「期待か実績か 悩ましく難しい」 熊本日日新聞 一〇年七月一日／名古屋市議会議りコントロール運動に思う 西日本新聞 一〇年二月八日／危機管理を考える機会に 朝日新聞 一一年四月一日／政党本位の政権選択だったのか 熊本日日新聞 一二年二月二三日／参院選公約 女性政策の見方 熊本日日新聞 一三年七月一三日／国家機密も公開が前提 熊本日日新聞 一三年二月二日／有権者の重み平等 熊本日日新聞 一三年二月二日／政令市、分権時代の自覚を 西日本新聞 一四年一〇月二七日／「多様な人材を育てる中小企業の活躍を」 熊本県中小企業家同友会『熊本羅針』二〇一五年三月号／身近な政治考える機会 朝日新聞 一五年四月三日／政策立案能力、見定めを西日本新聞 一五年四月二日／震災下での選挙 西日本新聞 一六年六月二日／コミュニティーの維持を 熊本日日新聞 一六年七月二日／取材は配慮しつつ遠慮せず 熊本日日新聞 一六年一〇月一日／取材対象者に十分配慮を 下野新聞 一六年一〇月二日／状況に合わせて改善必要 熊本日日新聞 一六年二月九日／権限活かし「住み良さ」を 熊本日日新聞 二〇一七年四月一日／町民への説明不十分 熊本日日新聞 一七年四月一日／政治は論点、選択肢示せ 熊本日日新聞 一八年五月三日／「自民一強」多様な民意閉ざす 熊本日日新聞 一八年一〇月二六日／「生活変わる」実感湧かず 熊本日日新聞 一八年一二月二日／生活で困っていること 物差しに 朝日新聞 一九年三月二二日／議員は行政と緊張感保て 熊本日日新聞 一九年三月二八日／コロナ禍の論戦 熊本日日新聞 二〇年三月二七日 など（全国紙は西部本社版又は熊本地方版）

「テレビ・ラジオ」

九五年六月二三日参院選解説／九六年一〇月二〇日衆議院選解説／九八年七月二二日参議院選解説／〇八年三月三日熊本県知事選解説（以上テレビ熊本）／九九年一月三十一日熊本県知事選解説（熊本シティーFM）／〇〇年四月二〇日熊本県知事選解説／〇〇年五月二五日衆議院選解説／〇〇年九月一四日公共事業解説／〇一年四月二三日自民党総裁選解説／〇二年五月三〇日有事立法解説／〇三年四月二九日統一地方選結果解説（以上FM中九州）／〇三年四月一三日熊本県議選解説／〇七年四月八日熊本

県議選解説／一三年七月八日週刊月曜日・参議院選解説／一四年一月一六日熊本市長選解説／一九年七月二二日参議院選解説
 ／二〇年三月二二日熊本県知事選解説（以上RKKラジオ）／〇〇年六月一三日衆議院選解説／〇一年七月二九日参議院選解説
 ／〇三年一月九日衆議院選解説／〇四年七月一日参議院選解説／〇五年九月九日・一日衆議院選解説／〇五年九月一日
 衆議院選解説／〇七年七月二九日参議院選挙・衆議院熊本3区補選解説／〇九年八月三〇日衆議院選解説／一〇年七月二一日参
 議院選解説／一二年一月二六日衆議院選解説／一三年七月二二日参議院選解説／一四年一月二四日衆議院選解説／一七年
 一〇月二三日衆議院選解説（以上熊本県民テレビ）／一八年四月二二日 益城町町長選解説（comケーブルテレビ）など

〔講演・研修講師等〕 省略

【管理運営】

略歴記載および役職指定の委員会委員のほか、法学部教務委員長、学生委員長、入試委員長、図書委員長などを務める